平成26年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月5日

上場会社名　株式会社シーイーシー　　上場取引所　東
コード番号　9692　URL　http://www.cec-ltd.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 柏木　茂
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 筒井　伸二　TEL 046-252-4111

四半期報告書提出予定日　平成25年9月6日　配当支払開始予定日　平成25年9月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第2四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第2四半期	20,611	5.7	895	26.7	875	29.1	460	△10.1
25年1月期第2四半期	19,508	△5.5	707	99.7	678	67.4	511	―

(注)包括利益　26年1月期第2四半期　565百万円　(28.1%)　25年1月期第2四半期　441百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第2四半期	26.40	26.36
25年1月期第2四半期	29.36	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第2四半期	34,067	20,235	58.0
25年1月期	33,978	19,838	57.2

(参考) 自己資本　26年1月期第2四半期　19,770百万円　25年1月期　19,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	―	10.00	―	10.00	20.00
26年1月期	―	10.00			
26年1月期(予想)			―	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 1月期の連結業績予想(平成25年 2月 1日～平成26年 1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	3.4	2,000	16.2	1,800	10.2	1,000	△21.1	57.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期2Q	18,800,000 株	25年1月期	18,800,000 株
② 期末自己株式数	26年1月期2Q	1,370,702 株	25年1月期	1,370,702 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期2Q	17,429,298 株	25年1月期2Q	17,429,298 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報.... 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.... 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.... 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.... 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項.... 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.... 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.... 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.... 3
３．四半期連結財務諸表.... 4
(1) 四半期連結貸借対照表.... 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.... 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間.... 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間.... 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.... 8
(4) 継続企業の前提に関する注記.... 10
(5) セグメント情報等.... 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.... 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間(平成25年２月１日～平成25年７月31日)におけるわが国経済は、政府の積極的な経済・金融政策に対する期待感から円安・株高局面となり景気回復基調にあるものの、輸入原材料価格の上昇や東アジアの景気減速等の影響により、持続的な景気回復には今一歩の状況で推移いたしました。

情報サービス産業においては、クラウドサービスの拡大、モバイル端末の業務利用、ビッグデータ分析など、新しい形態でのITサービス活用が本格的な普及期を迎え、今後期待されるこうした市場の拡大に伴うさまざまな顧客ニーズへの対応が求められております。

当社グループにおきましては、このようなITの新しい活用形態に対応すべく「高品質のITで顧客の事業発展に貢献する」の経営方針のもと、「品質を作る」「品質を保証する」「品質を維持する」をキーワードとして、付加価値の高い製品・サービスの開発、営業力強化によるシェア拡大ならびに経営の効率化等に取り組んでまいりました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、スマートフォン市場の急速な事業環境変化に伴い、品質検証サービス事業の売上高が減少しましたが、システム構築サービス事業が堅調に推移し、売上高は206億１千１百万円、前年同期比11億３百万円(5.7%)の増となりました。利益面については、増収に伴う売上総利益の増加および経費削減効果により、営業利益は８億９千５百万円、前年同期比１億８千８百万円(26.7%)の増、経常利益は８億７千５百万円、前年同期比１億９千７百万円(29.1%)の増となりましたが、繰越欠損金の解消に伴い法人税等が増加し、四半期純利益は４億６千万円、前年同期比５千１百万円(10.1%)の減となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社グループは、事業内容および経営環境に関してより適切な情報を把握するため、第１四半期連結会計期間より、従来の報告セグメント「プロベック事業」、「プロフェッショナル事業」、「プロセス事業」および「プログレス事業」の４区分を「品質検証サービス」、「IT基盤サービス」、「ビジネス支援サービス」および「システム構築サービス」に変更しております。したがいまして、前年同期比較については、前年同期実績値を変更後の区分に組み替えて行っております。

（品質検証サービス）

品質検証サービス分野におきましては、ビジネスシステム検証サービスおよびECHONET Lite(エコーネットライト)関連認証・検証サービスの拡大に注力してまいりましたが、一部国内スマートフォンメーカーの事業撤退・縮小の影響でエンベデッドシステム検証サービス分野の受注が減少し、売上高は18億１千２百万円、前年同期比１億７千万円(8.6%)の減、営業利益は１億１千１百万円となり、前年同期比１億２千万円の減となりました。

（IT基盤サービス）

IT基盤サービス分野におきましては、システム構築・運用・保守などITフルアウトソーシング事業の拡大、ならびにパートナー企業との協業によるサービス拡充に努めてまいりました。業績面につきましては、インフラ構築サービスが堅調に推移したことに加え、新規商談の獲得および経費削減に努めた結果、売上高は53億８千６百万円、前年同期比６千万円(1.1%)の増、営業利益は７億３百万円となり、前年同期比４千５百万円の増となりました。

（ビジネス支援サービス）

ビジネス支援サービス分野におきましては、ドキュメントソリューション「SmartSESAME® SecurePrint！」（スマートセサミ セキュアプリント）シリーズおよびPCを中心としたハード販売を推し進めたほか、産業用ロボットの最適配置・動作検証シミュレーション「RoboDiA®」（ロボディア）の提供を開始するなど、ものづくりソリューションのサービス拡充に取り組んでまいりました。業績面につきましては、大口の仕入販売を受注したことで売上高は24億４千３百万円、前年同期比６億８千万円(38.6%)の増、営業利益は４千５百万円となり、前年同期比４千８百万円の減となりました。

（システム構築サービス）

システム構築サービス分野におきましては、より高品質・高付加価値なサービスを顧客へ提供すべく、ニアショアなど開発分業化推進によるコスト削減、プロジェクト監視強化による開発品質の向上ならびに当社独自開発テンプレート活用による生産性の向上に努めてまいりました。業績面につきましては、自動車産業・金融業の受注が堅調に推移し、売上高は109億６千９百万円、前年同期比５億３千２百万円(5.1%)の増、営業利益は15億５千１百万円となり、前年同期比３億２百万円の増となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

総資産の残高は、340億６千７百万円となり、前連結会計年度末と比べ８千８百万円の増加となりました。これは、有価証券が３億５千万円増加したこと、減価償却により建物及び構築物（純額）が２億６百万円減少したことなどによるものです。

（負債）

負債の残高は、138億３千２百万円となり、前連結会計年度末と比べ３億７百万円の減少となりました。これは買掛金が３億４千６百万円増加したこと、退職給付引当金が１億８千６百万円減少、短期借入金が１億６千３百万円減少、リース債務（固定負債）が１億６千３百万円減少および受注損失引当金が４千８百万円減少したことなどによるものです。

（純資産）

純資産の残高は、202億３千５百万円となり、前連結会計年度末と比べ３億９千６百万円の増加となりました。これは、四半期純利益を４億６千万円計上したこと、その他有価証券評価差額金が４千４百万円増加、少数株主持分が４千万円増加、剰余金の配当により１億７千４百万円減少したことなどによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、前連結会計年度末に比べ４億８千３百万円増加し57億３千万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益を７億４千９百万円計上するとともに、減価償却費７億６百万円などにより13億６千６百万円（前年同期比７億４千９百万円の収入減）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、固定資産の取得による支出３億５千９百万円などにより３億５千９百万円（前年同期比２億８千１百万円の支出増）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済による支出１億８千９百万円、配当金の支払額１億７千４百万円およびリース債務の返済による支出１億６千８百万円などにより５億３千４百万円（前年同期比６千６百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年１月期の連結業績予想につきましては、平成25年３月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年７月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,260,120	5,446,558
受取手形及び売掛金	7,573,704	7,444,706
有価証券	327,750	678,736
商品	49,465	171,655
仕掛品	568,033	519,927
その他	1,171,861	1,165,270
貸倒引当金	△44,643	△8,784
流動資産合計	14,906,292	15,418,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,486,748	8,280,459
土地	2,512,896	2,512,896
リース資産（純額）	4,190,988	4,031,875
その他（純額）	864,234	913,946
有形固定資産合計	16,054,868	15,739,177
無形固定資産		
のれん	31,154	18,977
その他	543,801	456,906
無形固定資産合計	574,956	475,883
投資その他の資産		
その他	2,465,060	2,454,204
貸倒引当金	△22,432	△20,144
投資その他の資産合計	2,442,628	2,434,060
固定資産合計	19,072,453	18,649,121
資産合計	33,978,745	34,067,190

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年１月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年７月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,225,142	1,571,939
短期借入金	2,192,400	2,028,600
未払法人税等	188,166	231,086
賞与引当金	382,059	435,842
受注損失引当金	56,575	8,181
その他	2,350,350	2,218,688
流動負債合計	6,394,695	6,494,337
固定負債		
長期借入金	200,900	175,100
長期未払金	573,424	547,294
リース債務	3,960,132	3,796,461
繰延税金負債	288,473	260,030
退職給付引当金	1,646,975	1,460,888
役員退職慰労引当金	5,233	5,341
資産除去債務	1,069,979	1,092,646
固定負債合計	7,745,118	7,337,762
負債合計	14,139,814	13,832,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,415,030	6,415,030
利益剰余金	8,316,354	8,602,158
自己株式	△1,748,969	△1,748,969
株主資本合計	19,568,415	19,854,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△147,342	△102,734
為替換算調整勘定	413	18,703
その他の包括利益累計額合計	△146,928	△84,030
新株予約権	―	7,046
少数株主持分	417,445	457,857
純資産合計	19,838,931	20,235,091
負債純資産合計	33,978,745	34,067,190

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年７月31日）
売上高	19,508,157	20,611,325
売上原価	15,733,741	16,661,886
売上総利益	3,774,416	3,949,439
販売費及び一般管理費	3,067,191	3,053,725
営業利益	707,224	895,714
営業外収益		
受取利息	337	409
受取配当金	10,334	3,639
有価証券売却益	63,174	―
有価証券評価益	―	51,070
その他	82,127	66,406
営業外収益合計	155,974	121,525
営業外費用		
支払利息	143,351	130,652
有価証券評価損	25,305	―
その他	16,208	10,730
営業外費用合計	184,864	141,382
経常利益	678,334	875,856
特別利益		
その他	―	416
特別利益合計	―	416
特別損失		
固定資産売却損	15,462	―
固定資産除却損	56,470	15,745
投資有価証券評価損	2,585	―
割増退職金	―	89,969
その他	―	20,723
特別損失合計	74,518	126,439
税金等調整前四半期純利益	603,815	749,832
法人税、住民税及び事業税	91,148	175,757
法人税等調整額	△2,559	72,151
法人税等合計	88,588	247,908
少数株主損益調整前四半期純利益	515,227	501,924
少数株主利益	3,469	41,827
四半期純利益	511,757	460,096

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年７月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	515,227	501,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76,205	44,732
為替換算調整勘定	2,125	13,358
持分法適用会社に対する持分相当額	483	5,916
その他の包括利益合計	△73,596	64,007
四半期包括利益	441,630	565,931
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	437,762	522,994
少数株主に係る四半期包括利益	3,867	42,936

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年７月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	603,815	749,832
減価償却費	679,714	706,120
のれん償却額	11,646	12,177
賞与引当金の増減額（△は減少）	43,337	52,573
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△122,059	△48,394
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△40,647	△186,086
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△578,248	108
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,044	△38,146
受取利息及び受取配当金	△10,672	△4,049
支払利息	143,351	130,652
持分法による投資損益（△は益）	13,507	△12,421
固定資産除売却損益（△は益）	15,462	△416
固定資産除却損	56,470	15,745
有価証券売却損益（△は益）	△63,174	―
有価証券評価損益（△は益）	25,305	△51,070
投資有価証券評価損益（△は益）	2,585	―
前受金の増減額（△は減少）	126,592	39,139
売上債権の増減額（△は増加）	1,234,426	133,598
たな卸資産の増減額（△は増加）	△381,467	△70,460
その他の流動資産の増減額（△は増加）	16,726	△71,540
仕入債務の増減額（△は減少）	△22,646	344,512
未払消費税等の増減額（△は減少）	△41,051	△50,451
未払金の増減額（△は減少）	22,292	△8,542
未払費用の増減額（△は減少）	76,329	△34,951
長期未払金の増減額（△は減少）	573,424	△26,130
その他の流動負債の増減額（△は減少）	25,664	13,311
その他	△14,312	31,363
小計	2,392,327	1,626,476
利息及び配当金の受取額	10,672	4,049
利息の支払額	△143,352	△130,652
法人税等の支払額	△143,611	△133,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,116,035	1,366,486

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年２月１日 至 平成25年７月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13,341	△16,888
定期預金の払戻による収入	28,737	13,822
固定資産の取得による支出	△481,755	△359,665
固定資産の売却による収入	1,000	721
有価証券の売却による収入	394,364	―
投資有価証券の取得による支出	△315	△298
投資有価証券の売却による収入	5,000	―
敷金及び保証金の差入による支出	△4,141	△46,317
敷金及び保証金の回収による収入	2,713	46,530
その他	△10,857	2,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,596	△359,827
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△20,000	―
長期借入金の返済による支出	△237,000	△189,600
配当金の支払額	△174,581	△174,281
少数株主への配当金の支払額	△2,525	△2,525
リース債務の返済による支出	△167,639	△168,395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△601,746	△534,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,640	11,220
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,438,334	483,076
現金及び現金同等物の期首残高	4,087,683	5,247,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,526,018	5,730,098

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第２四半期連結累計期間（自　平成24年２月１日　至　平成24年７月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）1	合計
	プロベック事業	プロフェッショナル事業	プロセス事業	プログレス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,076,094	6,785,883	1,634,836	9,011,343	19,508,157	－	19,508,157
セグメント間の内部売上高又は振替高	47,993	38,730	7,866	181,091	275,681	△275,681	－
計	2,124,087	6,824,613	1,642,702	9,192,435	19,783,839	△275,681	19,508,157
セグメント利益又は損失（△）	119,478	217,899	△180,493	539,951	696,836	10,388	707,224

（注）1　セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去10,388千円が含まれております。

2　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年２月１日　至　平成25年７月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）1	合計
	品質検証サービス	ＩＴ基盤サービス	ビジネス支援サービス	システム構築サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,812,118	5,386,162	2,443,781	10,969,263	20,611,325	－	20,611,325
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,132	95,209	40,488	69,551	224,381	△224,381	－
計	1,831,250	5,481,371	2,484,269	11,038,814	20,835,706	△224,381	20,611,325
セグメント利益	111,061	703,368	45,983	1,551,545	2,411,959	△1,516,245	895,714

（注）1　セグメント利益の調整額△1,516,245千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントを「プロベック事業」、「プロフェッショナル事業」、「プロセス事業」および「プログレス事業」の４区分としていましたが、第１四半期連結会計期間より、事業内容および経営環境に関してより適切な情報を把握するため、事業区分を見直し、「品質検証サービス」、「IT 基盤サービス」、「ビジネス支援サービス」および「システム構築サービス」に変更しております。

なお、セグメントの事業区分を変更したことによる前第２四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

前第２四半期連結累計期間（自　平成24年２月１日　至　平成24年７月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	合計
	品質検証サービス	ＩＴ基盤サービス	ビジネス支援サービス	システム構築サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,982,191	5,325,801	1,763,350	10,436,814	19,508,157	－	19,508,157
セグメント間の内部売上高又は振替高	47,525	29,930	27,437	70,368	175,262	△175,262	－
計	2,029,717	5,355,732	1,790,787	10,507,183	19,683,420	△175,262	19,508,157
セグメント利益	231,678	657,909	94,240	1,249,446	2,233,274	△1,526,049	707,224

（注）１　セグメント利益の調整額△1,526,049千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。